

近畿支部管内における高圧ガス事故発生状況(平成30年～令和4年)

中部近畿産業保安監督部近畿支部 保安課

・事故発生事象別の件数(平成30年～令和4年)

	平成30年	平成31年 (令和元年)	令和2年	令和3年	令和4年
爆発	3	3	0	1	0
火災	4	5	8	7	6
噴出・漏えい	89	106	91	103	106
破裂・破損	2	1	1	6	1
盗難・喪失	14	7	4	9	7
その他	3	3	1	0	0
合計事象数	115	125	105	126	120
事故発生件数	113	122	102	118	119

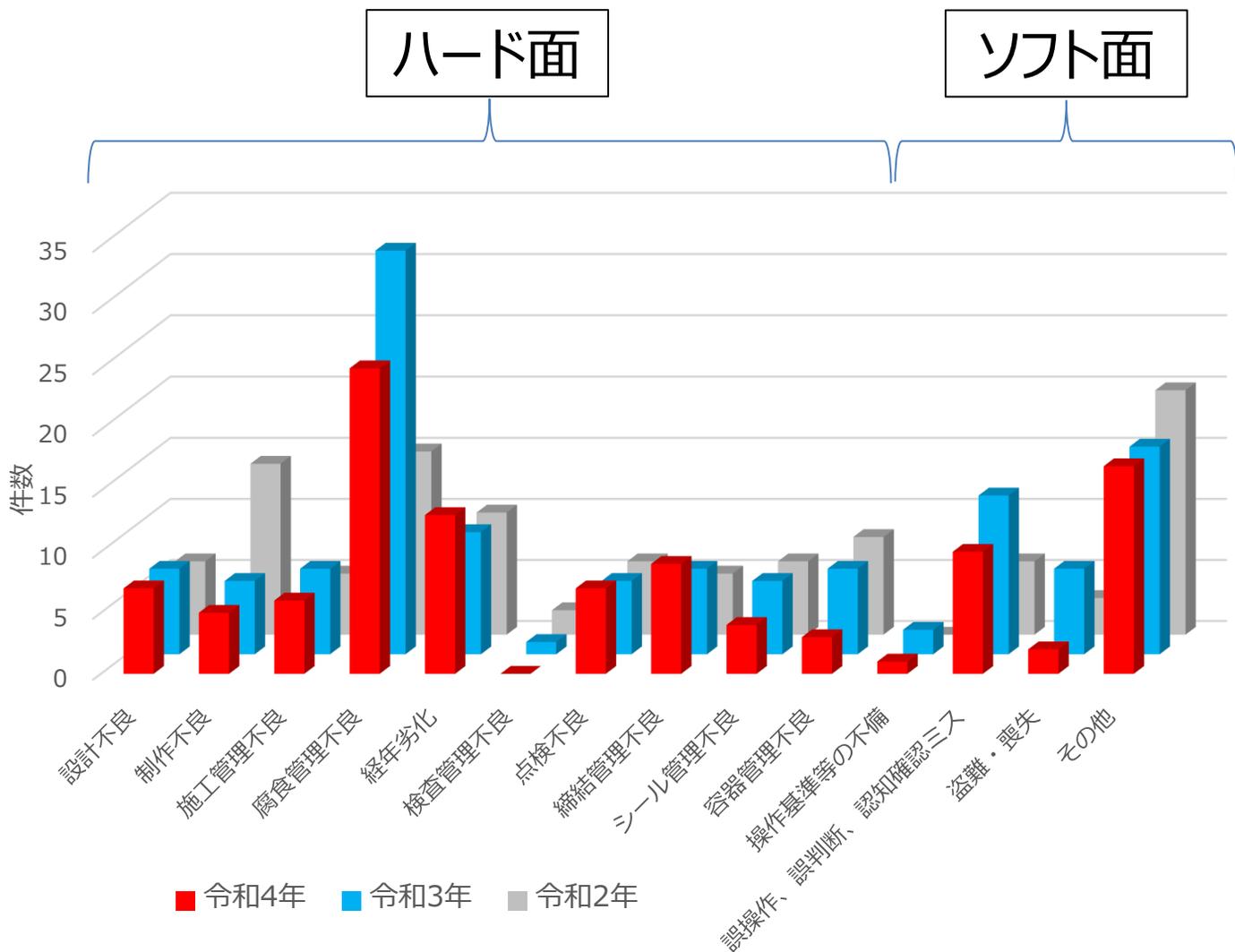
※ 令和5年3月時点の集計値であり、今後修正される可能性があります。

※ 2 1つの事故で事象が複数の場合があります。

- ・令和4年の近畿管内における高圧ガス事故は119件、令和3年は118件と、ほぼ同様となった。
- ・令和4年においては爆発事故及びその他に該当する事故は発生しなかった。また、破裂・破損事故にあっては1件のみであった。(前年より5件減少)

近畿支部管内における高圧ガス事故原因別比較(令和2年～令和4年)

・事故原因別の事故件数(令和2年～令和4年)



※ 1つの事故で原因が複数場合があります。

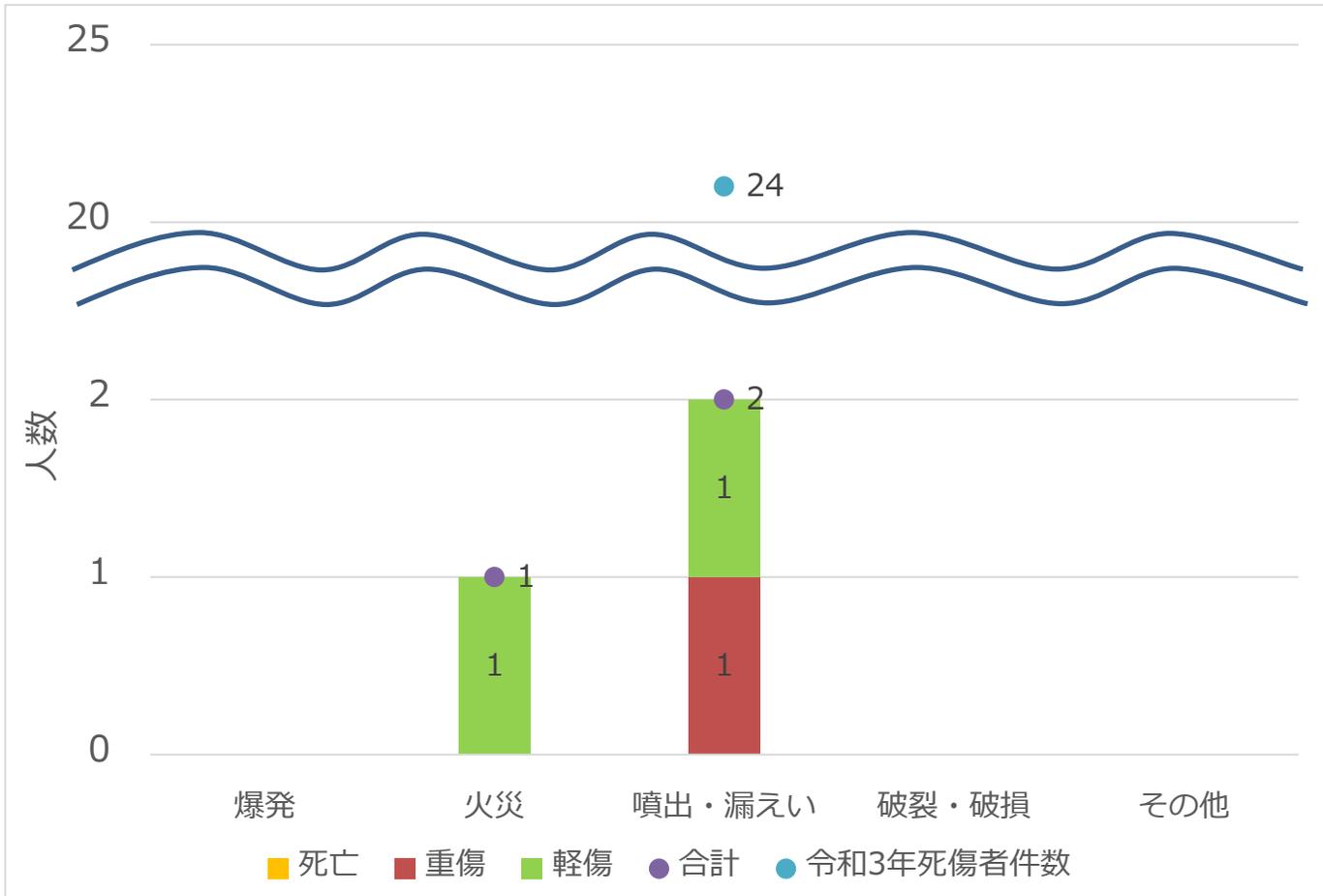
・事故原因の内、制作不良、シール管理不良、容器管理不良が原因の事故が年々減少傾向にある。

(制作不良：R2～R4までに9件減少) (シール管理不良：R2～R4までに2件減少)
(容器管理不良：R2～R4までに5件減少)

原因分析

- ・ 例年、ハード面での問題は腐食管理不良、ソフト面では誤操作・誤判断・認知確認ミスが多い。
- ・ これらは、設備の老朽化、人材不足、保安教育・指導が十分でなかったことが大きく影響していると考えられる。

・事故発生事象別の死傷者数(令和3年～令和4年)



		爆発	火災	噴出・漏えい	破裂・破損	その他
令和4年	死亡					
	重傷			1		
	軽傷		1	1		
	合計		1	2		
令和3年死傷者数				※ 24		

※ 令和3年では奈良県内の事業所において重傷者2名、軽傷者18名を伴う塩素漏えい事故が発生しており、死傷者数が飛躍的に増加している。

- ・令和3年に発生した死傷者を伴う事故件数は5件（計24名）、令和4年では3件（計3名）となっており、件数及び人数ともに減少している。
- ・令和4年の死傷者を伴う事故については、全て作業者による誤操作、誤判断（確認漏れ）が原因となっている。